

「国際工芸アワードとやま」の開催について

平成29年度に、「国際北陸工芸サミット※」において開催した「U-50 国際北陸工芸アワード」の成果をふまえ、本県の工芸の魅力を国内外に発信する取組みとして、国際公募展「国際工芸アワードとやま」を開催し、本日より募集を開始します。

当アワードを通して、世界の工芸を取り巻く状況や新しい動向について、知り、学び、また、「富山の工芸」を国内外に発信する機会とします。

※令和2年度からトリエンナーレ方式(3年ごとの開催)で実施する方向で検討

1 応募対象

- ・世界各地に伝わる、これまで工芸が培ってきた技法や材料を生かした、表現力や独創性に富む作品
- ・制作工程の中で必ず「手仕事」が施されている作品

2 募集期間

令和元年10月1日(火) ~ 令和2年1月10日(金) (詳細等については、HP等で公開)

3 応募資格

①50歳以下(応募締切[令和2年1月10日]時点)、②国籍不問、③作家、職人、デザイナー等

4 賞・特典

・賞金総額:400万円

最優秀賞 200万円 1名(組) / 優秀賞 50万円 1名(組) / 奨励賞 30万円 4名(組)

損保ジャパン日本興亜・特別賞 30万円・1名(組)

・最優秀賞受賞作品は富山県美術館に作品を寄贈いただくことを条件とする。

・入賞者等を招聘し、令和2年度には、県内工芸作家・企業等との交流プログラムを、令和3年度には、作品の協同制作プログラムを実施する予定としており、富山の工芸環境を国内外に発信

5 審査の流れ・スケジュール(予定)

・1次審査(令和2年2月中旬): 入選作品の選定 ※入選作品は富山県美術館において展示

・2次審査(令和2年5月下旬): 各賞の選定

・展覧会(令和2年5月下旬~7月上旬(2か月程度)): 会場 富山県美術館

・授賞式(令和2年6月下旬)

※展覧会の開催に併せ、アワード作品の講評や世界の工芸の動向をテーマとした、「工芸」に対する理解を深めるためのシンポジウムの開催を予定

6 選考委員

別紙のとおり

【国際北陸工芸サミット】富山県:平成29年度、福井県:令和元年9月、石川県:令和2年度
平成29年度から5ヶ年度計画期間において、文化庁と工芸の一大産地の一つである北陸三県が連携協力し、北陸の工芸の魅力を世界に発信するため、三県を持ち回り、連携し、様々な事業を実施するもの。

「国際工芸アワードとやま」選考委員(予定)

【1次審査】

委員名	摘 要
あおやぎ まさのり 青柳 正規 (選考委員長)	多摩美術大学理事長 東京大学名誉教授 前文化庁長官
かわかみ もとみ 川上 元美	デザイナー (公財)日本デザイン振興会 会長
すどう れいに 須藤 玲子	テキスタイルデザイナー
たかはし よしひこ 高橋 禎彦	ガラス作家 多摩美術大学教授
たしま えつこ 田嶋 悦子	陶芸家 大阪芸術大学教授
たなか のぶゆき 田中 信行	漆芸家 金沢美術工芸大学教授
はたけやま こうじ 畠山 耕治	金属作家 金沢美術工芸大学教授

【2次審査】

青柳 正規 (選考委員長)	} 1次審査より参加
須藤 玲子	
畠山 耕治	
ゆきやま こうじ 雪山 行二	富山県美術館 館長
(中国) 王超鷹 (ワン・チャオイン)	文化研究者 伝統工芸士 PAOSNET 代表
(イギリス) ルパート・フォクナー	ヴィクトリア&アルバートミュージアム 日本美術担当 学芸員

※海外選考委員につきましては、1名追加を予定しています。